

2019年1月23日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱 UFJ 銀行

保有株式の売却について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行 以下、MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ}三毛 兼承 以下、当行）は、保有する香港の金融グループである Dah Sing Financial Holdings Limited（以下、大新 FH）の株式を、大新 FH の株式総会での決議および関係当局の承認等を前提に、大新 FH の自己株式の取得を通じて一部売却することを今般決定いたしました。

1. 株式売却の内容

売却株数	15,500,000 株
売却完了予定日	2019年3月下旬
売却後保有株数	35,370,777 株
売却額	1株あたり 38.17 香港ドル 合計約 591.6 百万香港ドル（約 82 億円）

2. 株式売却の理由

MUFG は、2017年5月15日に公表しました「MUFG 再創造イニシアティブ」において掲げた「生産性向上に向けたイニシアティブ」の施策の一つとして、国際金融規制の強化やグローバルな事業環境の変化に対応すべく、資本運営の最適化を進めております。このような背景の下、MUFG グループ各社による戦略出資に関しては、その戦略性や資本効率等の観点から見直しを行っております。

今回、株式を売却することになった大新 FH は、香港の主要な金融グループであり、2000年に当行の前身である旧三和銀行が出資して以来、約 20年に亘って強固な関係を構築してまいりました。

今般、MUFG および当行を取り巻く環境変化を踏まえ慎重な検討を重ねた結果、株式を売却し株式保有比率を引き下げる結論に至りましたが、大新 FH とは幅広い分野において協働しており、大新 FH が当行にとって香港における重要な提携パートナーであるという位置付けは不変です。なお、MUFG は、戦略出資に関しては引き続き見直しを図ってまいります。残り的大新 FH 保有株式に関して現時点で決まっていることはありません。

当行は、1952年に前身の東京銀行が香港に出張所を開設して以来、65年以上に亘り香港で活動されるお客さまを支援してまいりました。引き続き、当地に根差した金融サービスを拡充し、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

3. 業績に与える影響

本株式売却が MUFG および当行の当期の業績に与える影響は軽微です。

以 上